

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1201056

政策目標	3 のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12 学校教育の充実	事業優先度	A	
単位施策	5 高校への継続的な支援	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	雄武高等学校生徒進学支援対策事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	進学用教材の購入	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	教材DVD購入(22講座)	関係例規・法令名		
住民参加 住民協働	2	関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	進学教材の購入					教材DVD購入	
	事業費(千円)	990	0	0	0	990	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	990				990	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	990	0	0	0	990	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	990				990	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値				22講座	
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	100%
	事業進捗状況					☆☆☆☆☆	

事業名	雄武高等学校生徒進学支援対策事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課	課長 横田和幸
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係	係長 武藤知憲

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	雄武高等学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	教材ライセンスの購入講座数		
【抱える課題やニーズは】	大学等の進学率の向上を推進するため、教職員が取り組みを進めていたが、間口減による教職員の減員に伴い、これまでの進学専用の教職員の取り組みを維持するための支援が必要となっている。		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	進学教材等の整備についての支援を行うことにより、大学等の進学率の向上を図る。		① 教材ライセンス購入講座数	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	大学等の進学率向上とともに、魅力ある高校としての生徒が確保され、地域の学校として存続が図られる。			目標値	22講座
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	教材ライセンスの購入	進学教材(教材DVD)の購入に対する補助を行っています。	実績値	22講座	
			達成度	100.0%	
			②	目標年度	年度
			目標値		
			実績値		
			達成度	#DIV/0!%	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	雄武高等学校を地域の学校として存続させるためには、入学者数の減少の抑制や魅力ある学校づくりの推進が重要であり、行政支援が必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況		教職員の減員を補うための進路教材の整備であり、効果があると判断します。
	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由		町外生徒については、大学等の進学率を入学の際の判断材料としている生徒もいるものと思われ、ライセンス購入数の精査により、コストに見合った効果が得られていると判断します。
	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

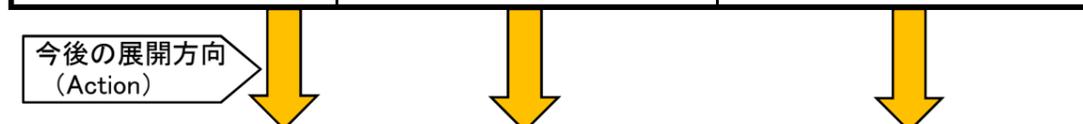
公平	判断の理由		生徒数の維持を図らなければ、高等学校の存続に大きく影響することから、公平性の観点からは問題がないと判断します。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
雄武高等学校の生徒数を維持するとともに、魅力ある学校づくりを推進し、地域の学校として存続させるための支援であり、計画どおり事業が進んでいます。		



終了		
雄武高等学校に対する進学率向上における支援対策事業は、進学教材の整備完了に伴い終了とするものであります。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止